

特定外来生物

「クビアカツヤカミキリ」 侵食中!

大阪府

サクラが 枯れてしまう



クビアカツヤカミキリは、**サクラ**、**ウメ**、**モモ**などの幹内部を食べ、弱らせたり枯らせたりするとてもやっかいな害虫。今、大阪府内でも確認され、拡大を続けているのです。

花見が 中止 になるかも!?

マジ? ムリ!



クビアカツヤカミキリ

特徴

からだ全体は黒く光る頭部の下が赤く突起がある成虫はジャコウのような匂いを放つ

大阪では平成27年にはじめて大阪狭山市で確認され、南河内地域を中心に被害が広がっているが、私たちにできることは...

しかも好物が、サクラ、ウメ、モモなどのバラ科の樹木であり、みんなが楽しみにしているお花見はもちろん、農業や生態系への影響が懸念される。

被害の拡大防止が急務です!

このクビアカツヤカミキリ、成虫(2〜4cm)は、6月から8月に野外で確認でき、繁殖する。メスの成虫は交尾後、幹や枝の樹皮の割れ目などに産卵し、1個体あたり300個もの卵を産む。その後幼虫は樹幹に穴を開けて入り込み、1〜3年かけて成長し、さなぎになる。その過程で樹木の中を食い荒らし木を枯らしてしまうのだ。

身近にもいる!

桜を守れ!

各地で駆除が本格化!

府民の皆様にも協力要請!

幼虫のすみかを探そう!

木クズが落ちていたらその木には幼虫が! すぐに対策すれば大丈夫!

成虫はその場で駆除!

被害の出ている地域で幼虫や成虫を見つけたらすぐに連絡を!

生きのまま持ち運ぶことは外来生物法違反になる!

OSAKA



クビアカツヤカミキリって どんな生物?

●毒はありません

●人に噛みついたり危害を加えることはありません

サクラ・ウメ・モモなどバラ科の樹木以外は被害を受けません

分類:コウチュウ目・カミキリムシ科
体長:2~4cm(成虫)
分布:中国、朝鮮半島、ベトナムなど
被害樹種:サクラ、モモ、ウメなどのバラ科樹木



幹に成虫(6月~8月)

成虫は木に楕円の穴を開けて出てきます。
すぐに交尾をし、樹皮の割れ目に卵を産み付けます。
1匹のメスが産む卵の数は、300~1,000個とされています。



内部に幼虫(2年かけて成長)

幼虫は樹幹にもぐりこみ、内部を食べながら大きくなります。
木は水や養分を吸い上げられなくなり、枝が枯れてしまいます。
2回目の冬に蛹(さなぎ)になります。



かりんとう状に固まる

樹幹の下部に多い

地面に落ちたフラス

周囲にフラス(3月~11月によく出る)

幼虫が排出する木くずと糞の混合物をフラスと言います。茶色で、
かりんとうのように固まるのが特徴。はじめは少ないですが、
幼虫が成長するにつれ幹や根元から大量に出ます。

見つけたらどうすればいい?

成虫は「踏みつぶす」「殺虫剤をかける」「アルコール消毒液または液体ハンドソープを入れた瓶に入れる」
等で駆除してください。フラスが出ている木は、可能であれば、木の管理者に伝達してください。
被害が確認されていない地域で発見された場合は、市町村等に連絡してください。



どうやって防げばいい?

被害状況や周辺の環境によって、方法が
異なります。詳しくは「クビアカツヤカミ
キリ被害対策の手引
書」を参照するか、お近
くの造園業者にご相談
ください。



防風ネット設置



食入孔に薬剤を注入



樹幹に薬剤を注入



薬剤散布

大阪府 環境農林水産部みどり推進室みどり企画課

〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 咲洲庁舎22階

TEL: 06-6210-9557 FAX: 06-6210-9551

メールアドレス: midorikankyo-g05@sbox.pref.osaka.lg.jp



おおさか生物多様性

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



指導監修・写真提供: (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所

令和6年7月発行

大阪府 クビアカツヤカミキリ